

令和 7 年度 事業報告書

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 31 日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

法人運営事業

◇ 組織体制の強化

・ 理事会の開催

6 月 5 日	第 1 号議案	令和 6 年度事業報告及び決算報告について
	第 2 号議案	次期役員の選任案について
	第 3 号議案	定時評議員会の招集について
	第 4 号議案	次期評議員の選任候補者推薦案について
	第 5 号議案	評議員選任・解任委員会の招集について
6 月 20 日	第 1 号議案	会長、副会長、常務理事の選定について
9 月 19 日	第 1 号議案	赤い羽根共同募金運動について
	第 2 号議案	給与・退職金規程及び非正規職員就業規則の変更について
	第 3 号議案	経理規程の変更について
12 月 15 日	第 1 号議案	令和 7 年度上期事業報告及び会計報告について
	第 2 号議案	令和 7 年度第 1 次補正予算（案）について
	第 3 号議案	給与・退職金規程の変更について
	第 4 号議案	評議員会の招集について
3 月 17 日	第 1 号議案	令和 7 年度第 2 次補正予算（案）について
	第 2 号議案	役員賠償責任保険契約について
	第 3 号議案	旅費規程の変更について
	第 4 号議案	役員等の費用弁償に関する規程の変更について
	第 5 号議案	令和 8 年度事業計画（案）並びに予算（案）について
	第 6 号議案	評議員会の招集について

・ 評議員会の開催

6 月 20 日	第 1 号議案	令和 6 年度事業報告及び決算報告について
	第 2 号議案	次期役員の選任について
12 月 23 日	第 1 号議案	令和 7 年度上期事業報告及び会計報告について
	第 2 号議案	令和 7 年度第 1 次補正予算（案）について
3 月 30 日	第 1 号議案	令和 7 年度第 2 次補正予算（案）について
	第 2 号議案	令和 8 年度事業計画（案）並びに予算（案）について

・ 監事会の開催

5 月 28 日	令和 6 年度決算監査について
11 月 5 日	令和 7 年度上期中間監査について

・ 三役会の開催

計 12 回開催し、決算の作成、理事会、評議員会の招集および議案の提出、

人事に関することについて協議しました。

- ・ 事業所会議（安全衛生委員会）の開催
計 12 回開催し、事業所内における課題と対策に関することについて協議しました。
- ・ 福祉サービス苦情受付窓口の設置
福祉サービス利用者からの苦情を受け付ける苦情受付窓口を設置しました。
また、苦情解決にあたり、中立・公正な立場から助言を行う第三者委員を設置しました。

○苦情受付件数 1 件

◇ 人材確保と人材育成

- ・ 新卒職員の定期採用のため、職員募集を行い積極的に就職フェアへ参加しましたが採用には至っていません。
- ・ 安定的な人材確保を目的に、採用後の就職奨励金の設定をしましたが、今年度の採用はなかったため、支給の予定はありません。
- ・ 人材を育成するため、医療福祉職の実習生 9 名を受け入れました。
- ・ 資格取得支援制度により介護福祉士取得者 1 名に費用助成をしました。
- ・ アルバイト雇用や適材適所の職員の配置を行い、人件費の抑制と人材不足の課題に取り組みました。

◇ 安定した財源確保

- ・ 安定した事業運営を目的として、早期退職優遇制度を実施し人件費の削減に取り組みました。
- ・ 社協会費、積立金実績（R8.3.31 現在）

○会費	一般会費	3,151 世帯加入	3,091,176 円
	特別会費	185 件加入	1,083,000 円
○積立金	設備等整備積立	9 件	1,271,700 円
	修繕積立	2 件	12,710 円
	福祉基金積立	5 件	900,000 円

地域福祉事業

<小地域福祉活動推進事業>

◇ 地域課題解決のための住民主体の福祉活動へ支援

- ・地域で行われているサロン等へ参加し、地域住民との意見交換や日常生活上のちょっとした困りごと（電球交換や除雪など）への対応について情報提供を行いました。

(1) 熊川地区支え合い推進委員会 1回

瓜生地区支え合い推進委員会 1回

- ・小地域福祉活動推進モデル集落を6集落指定しました。集落代表者と個別に連絡を取り、定期的に課題の共有や情報交換を行うことで集落の将来を見据えたこれからの福祉活動について検討する機会を作ることができました。

(2) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置（共同募金審査委員会にて決定）

令和6年度～令和8年度：田上区、南前川区、末野区

令和7年度～令和9年度：藤井区、井ノ口区、下タ中区

- ・地域で行われるサロンに他部署と連携し参加する事で、地域課題の解決に努めました。

◇ 福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援

- ・福祉委員活動のきっかけづくりや活動に有益な情報（福祉関係機関の連絡先一覧等）を記載した資料を作成し、上中地域、三方地域それぞれで福祉委員研修会を行いました。
- ・福祉委員との連絡手段の一つとして、LINEビジネスを活用し、日ごろから円滑な連絡体制を整えました。

<ボランティアセンター運営事業>

◇ 住民や企業に向けたボランティアセンターの周知とPR

- ・町内をはじめ県内のボランティア体験活動情報（ボランティア体験2025）について広報誌やSNSを活用し発信しました。また、ボランティア説明会を実施し、住民へボランティア啓発を行いました。

(1) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

ボランティア活動保険加入者数 724名

(2) 福祉教育の推進

ボランティア出前講座の開催

6月17日 福祉・障がいについて

野木小学校

7月16日 車椅子体験

野木小学校

9月26日 車椅子体験

美方高校

11月4日	パラスポーツ体験	野木小学校
11月5日	ふくしってなんだろう	上中小学校
11月12日	ふくしってなんだろう	上中小学校
11月19日	高齢者疑似体験	野木小学校
11月26日	高齢者疑似体験	上中小学校
11月27日	高齢者疑似体験	美方高校
12月4日	視覚障がい者体験	鳥羽小学校
12月12日	点字体験（むつみ会）	鳥羽小学校
2月18日	視覚障がい者体験	気山小学校
2月19日	点字体験（むつみ会）	気山小学校

（３）家屋補修支援事業

三方地域 8月17日 希望者 7件 実施 5件 ボランティア 8名
 上中地域 11月30日 希望者 13件 実施 11件 ボランティア 20名

（４）ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行支援 4回

（５）サポーター企業について

サポーター企業と定期的に連絡を取り、若狭テクノバレー企業連絡協議会へサポーター企業の取り組みについて情報共有を行いました。

（６）地域で支える送迎サービス

利用登録者 49名 貸出件数 208件 利用延人数 587名

（７）レクリエーション用具の貸出し

田上サロン、下野木 PTA、熊川公民館、鳥羽公民館、能登野子ども会
 横渡サロン、わかさスマイル食堂、朝霧サロン、井ノロサロン
 三宅公民館、新道老人クラブ

<子どもを中心に地域で取り組む福祉教育推進事業>

◇ 子どもの頃から自主的に福祉活動に取り組むことが出来るよう支援

- ・美方高校を指定校として、地元福祉関係者に協力を頂き、福祉に関する出前講座を通して、地域福祉の推進を図りました。

<若狭町災害ボランティアセンター連絡会運営事業>

◇ 発災時の動き方や設置、運営に関する協議

- ・災害ボランティアセンター連絡会協議会を開催し、改めて災害ボランティアセンターの役割について再確認を行いました。
- ・災害ボランティアセンターに関する研修会に参加し、運営に関する知識を深めました。

<送迎支援サービス事業>

◇ 住民のニーズを踏まえた支え合える体制づくりの推進

(1) 個人用福祉車両貸出し事業 (9 件)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
個人用貸出	50	2	2	2	2	2	1	11
		0	0	1	0	0	1	2
地域で支える 送迎サービス	1,080	65	69	61	60	54	55	364
		45	65	50	58	48	49	315

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
個人用貸出	0	2	2	0	0	1	5	16
	1	0	1	2	2	1	7	9
地域で支える 送迎サービス	65	59	49	49	42	43	307	671
	52	48	52	31	43	46	272	587

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<福祉総合相談事業>

◇ 各種相談事業の周知と様々な相談への対応

(1) 心配ごと相談

毎月第2火曜日 6回開催 相談件数 6件 (上中地域3件、三方地域3件)

(2) 無料法律相談

毎月第2火曜日 6回開催 相談件数 53件 (上中地域29件、三方地域24件)

- ・相談内容により、若狭町担当課と情報共有し相談者の課題解決のため連携を行いました。

<生活困難者支援事業>

◇ サービス利用者に合わせた適切な支援

- ・認知症高齢者や知的障がい者など、判断能力の不十分な方が在宅生活を継続していくため、地域住民や関係機関と連携しながら、適切なサービスの提供に努めました。
- ・生活福祉資金貸付事業において借入申込受付を行いました。相談はありましたが、契約には至りませんでした。
- ・当会が実施する介護サービスの利用者のうち、家庭の事情等により金銭等の管理が困難な方の、少額の現金を管理しました。
- ・所持金が少なく、食事に困っている生活困窮者に対して、食糧の提供を行いました。

- (1) 日常生活自立支援事業
(新規契約 0 件、契約終了 2 件、現在利用中 14 件)
- (2) 金銭等管理事業
(新規契約 1 件、契約終了 2 件、現在利用中 6 件)
- (3) ふくしの資金貸付事業
 - ①生活福祉資金貸付
(新規契約 0 件、契約終了 2 件、現在利用中 56 件)
 - ②たすけあい金庫貸付 2 件
 - ③緊急食糧支援事業 10 件
- (4) ふく福くらしサポート事業
生活困難者を対象とした総合的な相談や生活支援（現物給付）を行いました。
(相談 0 件、利用 0 件)

<広報活動>

- ◇ 様々な世代に対する地域福祉活動などの福祉情報の広報
 - ・ 地域福祉に関心を持ってもらえるよう、住民の関心の高い情報をわかりやすく広報誌や SNS など、より効果の高い媒体を使い、積極的に発信しました。
 - ・ 地域での福祉活動などに活用頂けるレクリエーション用具や福祉自動車貸出し事業を広報誌等で発信しました。
 - ・ ホームページや SNS を使い、町内の情報をはじめ県内のボランティア情報や福井県共同募金会の情報を発信しました。
- (1) 社協だよりの発行 6、10、2 月発行

<介護予防・生活支援>

- ◇ 福祉用具が必要な方への貸出し
 - ・ 福祉用具の利用状況（利用者の状態に適しているか、異常の有無）を確認し、貸出用具が有効に活用されている状態を維持できるよう取り組みました。
 - ・ 必要に応じて貸出用具を整備し、いつでも貸し出せる状態を維持しました。
- (1) 介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	14 台	(残 2 台)
車いす	貸出し中	9 台	(残 8 台)
スロープ	貸出し中	0 台	(残 2 台)
サイドテーブル	貸出し中	0 台	(残 3 台)

<障がい者アート作品公募事業（きらりアート展）>

- ◇ 障がい者および特別に支援を必要とする児童・生徒の公募アート作品展開催

- ・ 県の障害福祉施設情報を基に公募案内先を見直し、新たな障害福祉事業所へ公募案内を行いました。その結果、新規事業所からの出品があり新たな作者の発掘や活躍できる場の提供へとつながりました。
- ・ 申込受付(175 点)及び審査会を実施し、今年度は賞数を増やし受賞作品 50 点が決まりました。パレア若狭ギャラリー及び県庁、美浜なびあす、ネッツトヨタ福井、福井県立美術館での巡回展示を行い、県内に広く障がい者アートを周知する事ができました。

＜共同募金助成金事業＞

◇ 集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業への共同募金助成金の活用

【一般募金助成金事業】

- ・ 小地域福祉活動推進モデル集落（6 集落）への助成
- ・ きらりアート展の開催 応募数 175 点
- ・ 遊具助成事業
遊具の設置または修繕が必要な集落へ、費用の一部を助成しました。
助成集落：藤井区、田上区

【歳末たすけあい募金助成金】

- ・ 障がい児（者）クリスマス会
「若狭町知的障害児（者）家族の会 のぞみ会」の企画のもと、障がいのある子どもたちとその家族を対象に実施しました。
開催日：12 月 14 日 参加者：24 名
- ・ 福寿すまいる事業
町内在住の 75 歳以上で町内に実子のいないひとり暮らしの方を対象に、「そば・豆」「花・お茶」「日用品」から希望する品を福祉委員が安否確認や孤独感の緩和を兼ねて配布しました。贈呈品には、町内の小学校の児童からの手書きメッセージを同封しました。
配布日：上中地域 12 月 17 日 三方地域 12 月 18 日
配布数：194 名（上中地域：86 名、三方地域：108 名）
- ・ はっぴい届け弁当事業
ひとり親家庭、生活保護受給者世帯、ひとり暮らし高齢者の支援を必要とする方を対象に、お弁当を届けました。お弁当は、中村康裕氏（善司郎食堂部）を講師に町内の高校生がボランティアとして 60 個作りました。
配布日：12 月 6 日

通所介護事業（デイサービスパレア若狭）

- ◇ 安全で安心して在宅生活が送れるようニーズの把握に努め、専門性を活かした個別サービスを提供
 - ・幅広い利用者ニーズに対応できるよう、人員体制を整えました。
 - ・近隣の小保や学童などの施設から訪問があり、世代を超えた地域交流ができました。
 - ・家族やケアマネージャーとの連携を密にして、利用者の生活の変化や意向を把握するように努めました。
- ◇ ニーズに合わせたサービス提供による経営改善
 - ・サービス提供内容に応じた人員配置の見直しにより経費を削減しました。
 - ・利用者の状態に応じた個別サービスを提供することで、利用者満足度の向上を図りました。
 - ・10月より営業日を（月）～（金）の週5日に縮小し、人員削減による経営改善を図りました。
- ◇ 地域とのつながりを大切にし、地域に寄り添った活動
 - ・鳥羽小や上中児童クラブに来所いただき、世代間交流の場をもつことができました。
 - ・外食レクやドライブなどを行い、普段なかなかできない利用者にも楽しい体験となりました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	2,830	290	284	268	269	262	254	1,627
		241	256	228	245	231	228	1,429

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	295	288	273	245	225	271	1,597	3,224
	236	213	206	150	152	172	1,129	2,558

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

※10月～ 営業日：月曜日～金曜日

◇ 利用実績（定員：7名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型A型	770	64	76	68	78	72	80	438
		70	62	66	72	67	73	410

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型A型	81	74	74	58	59	71	417	855
	75	61	65	67	80	85	433	843

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

※10月～ 営業日：月曜日～金曜日

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 37,321,509

費用計 36,049,741

増減差額 1,271,768

生活支援ハウス

- ◇ 居住機能・介護支援機能・自立支援機能を総合的に提供
 - ・入居後も通所介護や訪問介護のサービスを継続し、生活スタイルを変えることなく快適に過ごしていただきました。
 - ・移動販売車の利用で、入居者の日常的な買い物ニーズに対応できるよう環境づくりに努めました。

- ◇ 各関係機関との連携を強化し、より良い福祉施設としての運営
 - ・健全な経営を行うために人員配置を見直しました。
 - ・行政と協議を重ねて委託料の増額や入居判定基準を変更しました。

- ◇ デイサービスセンターパレア若狭と連携
 - ・入居をきっかけに介護保険サービスの利用を開始し、デイサービスパレア若狭に通うことで知り合いの方との再会や交流の場を提供することができました。
 - ・デイのご利用でない日もデイフロアで過ごしていただくことで、新たな交友関係を広がり、社会的なつながりの中で日常生活動作の維持を図るなど、生活全体の活性化につながりました。

- ◇ 利用実績（居室利用定員：12名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	2,918	187	208	222	203	199	136	1,155
		37	6	0	0	0	0	43

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	164	172	174	201	168	140	1,019	2,174
	0	8	0	81	84	53	226	269

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

- ◇ 経営状況（単位：円）

収益計	9,768,131
費用計	9,917,847
増減差額	▲149,716

通所介護事業（デイサービスセンターいずみ）

- ◇ 安全で安心して在宅生活が送れるようニーズの把握に努め、専門性を活かした個別サービスを提供します。
 - ・幅広い利用者ニーズに対応できるよう、人員体制を整えました。
 - ・近隣の小保や学童などの施設から訪問があり、世代を超えた地域交流ができました。
- ◇ 利用者のニーズに合わせた柔軟なサービスが提供できる施設づくり
 - ・昨年に引き続き、食事レク・外出レク・畑作業・機能訓練、イベント行事に力を入れ、利用者が自主的に活動し、日々の生活に楽しみが生まれるような活動ができました。
 - ・介護度の高い方、遠距離の方、他事業所で自分のリズムに合わなかった方や断られた方（医療処置も含む）等、いずみを必要とされた方々の受け入れをできる範囲で積極的に受け入れをしました。
- ◇ 地域交流の充実によるサービス向上
 - ・イベント活動の際は、協力いただける地域の方に声掛けしました。夏祭りではボランティア団体や三方小学校の6年生が参加して下さり、運動会ではみそみ保育所の子供たちと交流を深めながら楽しく活動ができました。また福祉施設訪問事業によるトランペット演奏会や弦楽五重奏のアウトリーチコンサートを開催し、ご家族との交流も図ることができました。プロの演奏は迫力があり、楽しい漫談や楽器の音色を楽しみながら心地よい時間を過ごす事ができました。
 - ・美方高校職場体験で生徒とのレクリエーション交流や、レクリエーションボランティア（フラダンス教室&ショー）との振付けの参加体験をしました。
 - ・地域包括支援センター主催のオレンジデイに参加し、多世代間交流ができました。また作品展示をして町内の方々に見ていただくことができました。
 - ・みそみフェスティバル（みそみ公民館）に作品展示をして身近な地域の方に見ていただくことができました。
 - ・サロン活動に2回出向き、体操やレクリエーションなどで交流することでデイいずみが身近な存在・場所になるよう取り組みました。
- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	2,749	196	207	191	205	219	216	1,234
		227	245	240	277	289	305	1,583

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
通所介護	249	217	203	197	191	206	1,263	2,497
	320	300	326	292	298	306	1,842	3,425

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：10 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
緩和型 A 型	587	37	37	31	38	46	39	228
		44	49	51	65	64	58	331

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
緩和型 A 型	47	47	42	49	47	44	276	504
	57	49	58	52	38	48	302	633

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 41,831,578

費用計 39,208,135

増減差額 2,623,443

ホームヘルプサービスいずみ

◇ 中重度対応の強化

- ・オンラインや集合研修に参加し、訪問介護員としての知識を学ぶことができました。定例会での内部研修は中重度の受け入れを前提に、議題に合わせて職員間で内容を検討し、日々の訪問活動に沿った内容で行うことができました。

◇ 他事業所との連携強化

- ・在宅療養検討会議や多職種連携会議、キャラバンメイト連絡会など多職種との会議に参加して意見交換ができました。また、他訪問介護事業所と連携し利用者の支援を行う件数も増え、事業所間のつながりを広げることもできました。

◇ 利用実績 （営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問介護（介護）	7,920	623	626	672	659	640	679	3,899
		668	624	527	587	566	578	3,550
緩和型A型	540	45	53	49	60	49	46	302
		39	37	40	47	33	38	234
訪問介護 （障がい）	510	48	58	37	57	55	43	298
		54	62	47	64	54	53	334

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問介護（介護）	707	643	603	576	546	655	3,730	7,629
	524	431	452	455	399	456	2,717	6,267
緩和型A型	65	55	50	38	41	43	292	594
	47	61	64	56	58	63	349	583
訪問介護 （障がい）	43	41	43	41	41	43	252	510
	66	55	57	52	50	61	351	685

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

●訪問介護

収益計	29,788,008
費用計	25,330,592
増減差額	4,457,416

●障がいヘルプ

収益計 4,171,405

費用計 7,983,135

増減差額 ▲3,811,730

●訪問介護と障がいヘルプの合計

増減差額 645,686

居宅介護支援事業所わかさ

◇ 特定事業所のケアマネジャーとして資質向上

- ・毎月開催されている地域ケア会議への助言者として6月9月12月2月に参加し、同会議の事例提供者として5月7月9月に事例提供を行いました。
また11月に公開型の地域ケア会議で事例提供を行いました。
- ・精神疾患の理解や高齢者虐待防止、身体拘束、認知症についての研修を行い資質向上と認識の理解を深めることができました。
- ・虐待の可能性のある事例や生活困窮の事例等も受け入れを行い、包括や病院等とも連携し支援を継続しました。
- ・介護支援専門員実務研修の見学実習1名の受け入れを行い、主任ケアマネからの指導助言を行いました。

◇ 地域福祉事業、小規模多機能ホームとの連携強化

- ・金銭管理事業等の支援を受けている利用者について地域福祉と情報共有など連携しました。
- ・小規模多機能ホームみさきの事業廃止に伴い、全ての利用者の受け入れと必要なサービス調整を行い、利用者の在宅での生活が継続できる支援を行いました。また小規模多機能ホーム虹の家からの利用者の引継ぎや相談等も行い連携の強化を行いました。

◇ 相談窓口としての役割強化

- ・介護保険や介護の相談窓口の周知はまだ出来ておらず直接相談に来られる方はほぼありません。
- ・4月2回の福祉委員研修会に参加し、福祉委員が気軽に相談頂けるような関係づくりを行い一部利用者について連携し支援を行っています。

◇ 利用実績

介護

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,618	126	131	128	128	124	132	769
		132	133	133	133	136	134	801

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	138	139	135	133	130	130	805	1,574
	135	139	138	136	134	137	819	1,620

介護予防

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
予防支援	540	37	42	43	45	49	45	261
		47	47	47	49	49	48	287

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
予防支援	43	43	43	43	42	46	260	521
	50	58	67	68	68	66	377	664

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況 (単位：円)

収益計 32,599,650

費用計 23,912,351

増減差額 8,687,299

訪問看護ステーションわかさ

◇ 各関係機関、他の事業所との連携強化

- ・近隣医療機関との連携をより密に行うことで、訪問看護を必要とする利用者へ迅速にサービスの提供を行い、医師の指示に基づいた各種医療行為を安全に実践しました。

◇ 在宅生活を継続できる支援体制の整備

- ・重症度の利用者及び医療ケアの継続が必要な利用者が、在宅生活を継続できるよう、営業時間外や週末の訪問等を含めた対応を行いました。
- ・認知症に関する研修を修了することで、認知症対応力を強化しました。

◇ 多様な障がいへの対応

- ・介護保険、医療保険共に対応できるサービスとしての強みを活かし、若年層から高齢層まで、幅広い層の利用者への対応を実施しました。
- ・障がい者相談支援センター等に対して、訪問看護サービスの周知を行いました。

◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日 ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
訪問看護(予防)	960	52	46	56	70	64	74	362
		91	69	74	64	53	71	422
訪問看護(介護)	4,090	299	308	298.5	332	294	286	1,817.5
		337	327	327.5	343	306	293	1,933.5
訪問看護(医療)	1,128	104	100	120	130	84	124	662
		104	93	112	105	102	83	599

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
訪問看護(予防)	79	69	86	75	73	83	465	827
	75	63	88	100	84	88	498	920
訪問看護(介護)	326	307	325	297	267	328	1,850	3,667.5
	334	254	290	269	260	279	1,686	3,619.5
訪問看護(医療)	98	96	118	111	84	94	601	1,263
	118	121	83	70	62	80	534	1,133

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 47,714,828

費用計 41,495,230

増減差額 6,219,598

小規模多機能ホーム きやま虹の家

- ◇ 地域の福祉拠点として、地域の課題解決のため、顔の見える体制づくりと柔軟な支援
 - ・地域の頼れる福祉拠点として、利用者ニーズに合わせ訪問や通い、さらにはお泊りにも柔軟に対応しました。
 - ・事業所同士が課題を共有し、月1回の会議を設けて、制度や職場環境改善への取り組み等を話し合い、連携を深めたことで課題の解決に繋がりました。
 - ・近隣市町の小規模多機能事業所の見学を2回実施出来ました。事業所運営の参考にしつつ、さらには共に抱える課題を共有し、解決に向けて話し合う事が出来ました。
- ◇ 幅広い視点で、充実した楽しみのある暮らしのサポート
 - ・個別計画を基に、地域の中で楽しみのある生活ができるよう行事の企画や公民館活動に参加し利用者の交流の場として活動しました。
 - ・民生委員や地域の活動グループとの関わりを持つ事で、新たな地域資源の発見や繋がりを持つことができました。
- ◇ 365日切れ目のない支援
 - ・顔なじみの職員が途切れることなく関わりを持つことで、気軽に相談に応じることができ在宅生活を継続することができました。
 - ・必要に応じ小規模多機能サービスのあらゆる機能を使い、緊急時には早急にサービスを組み換えるなどの対応ができました。また医療との連携にも力を入れ情報交換を行いました。
- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型 居宅介護	150	13	11	11	11	11	10	67
		12	11	10	10	11	11	65

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型 居宅介護	10	12	13	13	13	11	72	139
	12	13	12	12	11	11	71	136

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 28,417,757

費用計 33,898,939

増減差額 ▲5,481,182

コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援 B 型）

- ◇ 誰もが安心でき、安定した働き方ができる環境づくり
 - ・ 就労選択支援事業を 2 月から開始し、1 名の実績がありました。
 - ・ 相談支援専門員と直接会う機会を多く設け、信頼関係を構築し相談の時間を多く持つことで、利用者の課題や困りごとに早期に対応できました。
 - ・ 他就労支援事業所の事業内容や実践の発表や事例検討を行う研修に延べ 10 名の職員が参加し、支援や事業運営に役立てることができました。他にも障がいに関する基礎的な研修など、個々に必要な研修を受講しました。
- ◇ 利用者の就労意欲向上による工賃向上
 - ・ 地場産業である梅の作業について、梅干しの加工や枝拾い等の作業を増やすことができ、利用者に合った作業を提供することができました。
 - ・ 3 月に嶺北の B 型事業所を利用者 13 名が見学をしました。就労支援の結果、2 月に利用者 1 名が A 型事業所へ移行することができました。
- ◇ 誰もが気軽に集え、にぎわいのある施設づくり
 - ・ タブレットを購入し、インスタグラムや Facebook 等 SNS の活用をスタートすることができましたが、三方駅でのイベント等の実施はできていません。
- ◇ 利用実績（定員：20 名 営業日：月曜日～金曜日、ただし年末年始は除く）

就労継続支援は延利用者数（単位：人） その他項目は売上金額（単位：千円 ※端数切捨て）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
就労継続支援	4,727	381	408	347	408	363	350	2,257
		351	375	384	427	364	417	2,318
カフェ	5,963	438	563	562	522	517	466	3,068
		489	453	414	491	480	510	2,837
売店	851	79	76	72	66	64	57	414
		48	59	75	74	76	92	424
清掃・内職その他	3,335	189	295	287	230	332	320	1,653
		271	303	265	282	298	273	1,692
Felice	3,964	317	347	174	236	380	170	1,624
		178	223	219	181	228	201	1,230

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
就労継続支援	385	377	346	340	330	351	2,129	4,386
	425	378	419	345	333	375	2,275	4,601
カフェ	562	485	547	447	455	612	3,108	6,176
	529	475	452	433	538	576	3,003	5,840
売店	60	44	73	56	61	66	360	774
	63	74	72	60	60	67	396	820
清掃・内職その他	298	264	222	255	263	263	1,565	3,218
	287	268	248	227	402	259	1,691	3,383
Felice	325	393	467	147	262	353	1,947	3,571
	260	288	223	139	230	449	1,589	2,819

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 60,927,838

費用計 54,420,129

増減差額 6,507,709

葬祭事業

◇ サービスの向上

- ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
- ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃を 10 回（毎月第 3 日曜日）受入れました。

◇ 利用実績

（単位：件数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
葬祭事業	—	13	11	13	15	22	13	87
		18	17	10	13	17	18	93

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
葬祭事業	17	17	24	21	27	24	130	217
	15	13	22	20	16	14	100	193

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 13,756,600

費用計 13,756,600

増減差額 0

生きいきふれあい館

- ◇ 介護予防および地域交流、世代間交流の場等全世代の公共施設としての利用促進
 - ・新たな利用目的として、中学生のソフトボールクラブや集落レクリエーション大会でのモルックなど、幅広い活動での利用促進を図りました。
 - ・ゲートボール・グラウンドゴルフの普及活動の一環として、集落サロンにグラウンドゴルフ用品を貸出しました。

◇ 利用実績

(単位：延利用団体数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
生きいき ふれあい館	712	50	59	56	61	36	43	305
		52	54	48	42	26	41	263

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
生きいき ふれあい館	56	57	62	70	64	69	378	683
	49	49	48	51	70	66	333	596

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況 (単位：円)

収益計 995,625

費用計 1,059,277

増減差額 ▲63,652

介護予防拠点施設五湖の郷

◇ 地域交流の場としての機能強化

- ・ 交流事業の一環として梅の里保育園の園児による発表会、また利用者との交流会を行いました。
- ・ 園児や親子、児童等が五湖の郷敷地内を自由に安全に利用できるように、定期的に整備し中庭を開放しました。
- ・ 地域交流を目的にボランティア団体と障がい者が園芸活動で交流を実施しました。

◇ ボランティア活動の推進

- ・ 定期的に活動いただいているボランティアは、環境美化ボランティア（草刈り・剪定・窓拭き）、レクリエーションボランティア（音楽・本読み・麻雀等）となっており、延べ 211 人の方が活動されました。

◇ 福祉学習の推進

- ・ 介護人材の育成を目的に美方高校の生徒を受入し利用者との交流を実施しました。

通所介護事業（デイサービスセンター五湖の郷）

- ◇ 安全で安心して在宅生活が送れるようニーズの把握、専門性を活かした個別サービスの提供
 - ・ 安定した送迎を行なえるよう、運転を専門に行う職員を採用しました。
 - ・ 近隣の小学校や保育園、学童などの施設から訪問があり、世代を超えた地域交流が出来ました。
- ◇ 地域に根差した事業所として、健康な在宅生活の継続支援
 - ・ ハート&アートフェスタや西田公民館の作品展に作品を出展し、地域の方にデイサービスの活動を知ってもらう機会を作りました。
 - ・ デイサービスの PR 活動の一環としてパンフレットをリニューアルし、西田公民館や各居宅支援事業所へ配布しました。
 - ・ 梅の里保育園との交流会の年間行事を計画し、施設内での世代間交流活動を実施しました。
- ◇ 健全な経営を目指すための人員体制及び提供内容や個別サービスの見直し
 - ・ みさきの休止に伴い、西浦方面の利用者の受け入れを行い実績の確保を行いました。

- ◇ 利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
通所介護	2,042	145	156	118	164	143	162	888
		141	139	129	142	137	133	821

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
通所介護	176	159	164	141	118	122	880	1,768
	171	143	164	150	162	142	929	1,753

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

- ◇ 利用実績（定員：5 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
緩和型 A 型	375	29	29	24	32	31	26	171
		27	23	21	29	17	26	143

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
緩和型 A 型	25	29	27	19	14	22	136	307
	27	24	28	38	40	36	193	336

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 20,788,845

費用計 26,104,603

増減差額 ▲5,315,758

特別養護老人ホーム五湖の郷

<特養事業>

- ◇ 入居者や職員の心身の健康を保ちながら、終の棲家として入居者や家族も安心できる施設づくり
 - ・ ICT 機器（見守りセンサー）の増設を目的に、「福井県介護テクノロジー等導入支援事業補助金」の申請を行いました。現場職員（ユニットリーダー）が展示会場へ出向き、実際に様々な ICT 機器を体験し、導入による便利性等の選択の幅を広げる機会となりました。下半期は介護生産性向上推進における上位加算取得および職員の負担軽減に繋がる環境整備を目的として、業者に来設して貰い、実際に現場の職員が ICT 機器に触れ説明を聞ける機会を 4 回設けました。
 - ・ 本人や家族の意向に沿った看取りの対応に努め、後悔のないように揺れ動く家族の思いをその都度確認し、施設内での看取りを 3 名行いました。
 - ・ D スタディ研修（オンライン研修システム）で得た知識を活かし、日々の細かな状態観察や情報共有に繋げる事が出来ています。年間の入院者は 1 名、退所者は 4 名に留める事ができました。
 - ・ 経営改善を目的に、厨房食材の質を落とさず安価な仕入品の選定、購入に努めました。また、展示会場へ出向き新たな弁当や完調品のルート開発に努めました。

◇ 利用実績（定員：29 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
特別養護	10,373	827	842	856	868	818	814	5,025
老人ホーム		870	899	870	899	899	868	5,305

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
特別養護	869	862	893	837	766	899	5,126	10,151
老人ホーム	880	840	874	892	809	899	5,194	10,499

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

●特養

収益計	191,281,711
費用計	178,185,204
増減差額	13,096,507

<高齢ショート事業>

- ◇ 在宅暮らしを支えるサービスとして、地域に開かれた信頼される施設づくり
 - ・介護職員による日々の細かな気付き、看護職員による情報の精査により相談員から居宅ケアマネや家族に速やかに報告し、重症化リスクの軽減に努めました。
 - ・現場職員（ユニットリーダー）が展示会場へ出向き、実際に様々な ICT 機器を体験し、導入による便利性等の選択の幅を広げる機会となりました。下半期は介護生産性向上推進における上位加算取得および職員の負担軽減に繋がる環境整備を目的として、業者に来設して貰い、実際に現場の職員が ICT 機器に触れ説明を聞ける機会を 4 回設けました。
 - ・D スタディ研修（オンライン研修システム）で得た知識を活かし、導入前より日々の細かな観察や認知症の方の新たな能力を見つけ出すなど、前向きで柔軟な対応に繋がりました。
 - ・定期的にユニットで誕生会やおやつ作りのイベントを実施しました。またデイサービス利用者と交流を目的としたおやつ作り、地域交流を目的とした多由比祭り見学などの活動内容をインスタグラムに投稿しました。

◇ 利用実績（定員：10 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
高齢者ショート ステイ(予防)	5	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
高齢者ショート ステイ(介護)	2,988	250	260	273	259	256	224	1,522
		246	238	277	277	286	278	1,602

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
高齢者ショート ステイ(予防)	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	2	0	0	2	2
高齢者ショート ステイ(介護)	239	236	257	250	252	280	1,514	3,036
	280	247	257	281	242	272	1,579	3,183

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

●高齢ショート

収益計 42,987,763

費用計 51,005,818

増減差額 ▲8,018,055

●特養と高齢ショートの合計

増減差額 4,551,952

小規模多機能ホーム みさき

- ◆ 地域の福祉拠点として、地域の課題解決のため、顔の見える体制づくりと柔軟な支援
 - ・ 地域の頼れる福祉拠点として、利用者ニーズに合わせ臨機応変に対応し住み慣れた地域での生活を支えています。
 - ・ 事業所同士が課題を共有し、月 1 回の会議を設けて、制度や職場環境改善への取り組み等を話し合い、連携を深めています。
 - ・ 近隣市町の小規模多機能事業所の見学を 2 回実施出来ました。事業所運営の参考にしつつ、さらには共に抱える課題を共有し、解決に向けて話し合う事が出来ました。
- ◇ 地域医療、保健、福祉と連携し、利用者や地域の方々が安心して健康に暮らせるように支援
 - ・ 主治医とのメールや電話での相談、また対面で情報共有を行う事で、主治医の視点から介護サービスや生活全体の助言をいただき、地域の中で一住民として過ごす為の支援に繋がりました。
 - ・ 地域医療との連携を目的に、僻地診療の薬剤を高齢者宅に配送し、地域と医療との架け橋的な役割を果たしました。
 - ・ 訪問看護（リハビリ職や看護職）の専門的な立場からの視点や指導をもらい、小多機サービスだけでなく多方面からのアプローチによって、住みよい環境作りやサービス内容の見直し検討が出来ました。
- ◇ 地域の方々との交流する機会を設け、頼れる福祉拠点としての活動の充実
 - ・ 梅の里保育園や五湖の郷高齢デイサービスとの交流会、音楽ボランティアによる歌発表や地元の神社例祭への参加など、地域で交流する機会を確保する事が出来ました。
 - ・ みさきの活動を「Instagram」を活用し情報発信しました。また SNS（LINE 等）を活用し利用者の活動の様子をリアルタイムに家族へ発信しました。
 - ・ 令和 7 年 12 月 31 日で事業廃止しました。利用者はデイサービスセンター五湖の郷へ登録変更しました。

◇ 利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：登録者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
小規模多機能型	141	14	13	14	13	13	13	80
居宅介護		11	11	11	12	11	10	66

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
小規模多機能型	11	11	11	11	11	11	66	146
居宅介護	12	12	12	0	0	0	36	102

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計 19,157,153

費用計 18,370,943

増減差額 786,210

障がい者日中活動支援施設

- ◇ 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化
 - ・一人ひとりの障がい者の特性を理解するために個別活動やグループ活動、生産活動など様々な場面での様子を観察し、利用者の能力を引き出す方法を模索し、個別シートの作成に取り組みました。
 - ・利用者の突発的な行動や状態変化等に対して、迅速に適切な対応が図れるように職員に応じた支援方法について検討し、また ICT 機器（見守りカメラ、ワイヤレスインターホン）を増設しました。
- ◇ 地域住民に対して障がい者（児）理解の促進
 - ・日中活動支援に協力頂ける地域ボランティアの受け入れを上半期 29 回、下半期 25 回実施できました。昨年度に引き続き、5 月にボランティア団体との園芸レクリエーションを実施する事ができました。また児童や学生と交流できる機会を上半期 6 回、下半期 10 回もてました。そして、利用者自身が地域住民と関われる野外活動を上半期 20 回、下半期 9 回実施しました。
- ◇ 健全な経営を行うため、事業内容及び職員体制の見直し
 - ・職員の離職防止のために部署内会議を行い、働きやすい勤務形態で働けるよう話し合いました。
 - ・部屋の照明やエアコンの使い方について見直し、経費削減に努めました。
 - ・令和 7 年度から実施された生活介護事業所連絡会（若狭地区）に参加し、他事業所と意見交換を交え、現状の課題（人員不足や送迎問題）等について定期的に話し合い協議しました。

<障がい者デイサービス事業（生活介護）>

- ・利用者同士が分かち合い、充実した時間を過ごせように、活動場所や活動内容について職員は配慮し、変更があるたびにその都度、利用者に丁寧に伝えました。
- ・5 月からアルミ缶回収（生産活動）にご協力して下さる新たな地区（鳥浜区）が加わり、回収率アップに繋がりました。また、町内で新たな SDGs 買い取り業者との取引が始まり、作業改善に繋がっています。利用者には上半期 810 回、下半期 854 回の作業機会を提供できました。
- ・上半期、就労選択支援研修や自閉症研修、つくし会の視察等を通じて職員の知識向上を図りました。下半期は、安全運転管理者講習やサービス管理責任者（実践研修）に参加し職員のスキルアップを図りました。

◇ 利用実績（定員：20 名 営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
生活介護	2,124	189	202	179	193	174	167	1,104
		214	211	203	219	170	199	1,216

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
生活介護	186	175	179	169	167	195	1,071	2,175
	213	174	190	173	172	191	1,113	2,329

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 日中一時支援事業 >

◇ 児童を安全に受け入れられる場の構築

- ・ 家族や学校と情報共有を行い、自立した過ごし方ができるように活動内容を整え支援しました。また、放課後デイサービスとショートステイを併用利用する利用者には、安心して利用できるように職員は部署を横断して支援しました。

◇ 利用実績（定員：1～4 名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
日中一時支援	366	58	42	36	39	32	30	237
		25	28	29	34	29	30	175

（下半期）	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
日中一時支援	31	31	31	38	27	29	187	424
	30	27	31	25	26	24	163	338

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

収益計	35,849,301
費用計	30,335,546
増減差額	5,513,755

障がい者ケアホーム五湖の郷

- ◇ 利用者が安心して生活ができ、その上で生き生きと自分らしく過ごすことができるための支援
 - ・ 障がいのある老若男女だれもが自分らしく安心して暮らしていけるよう、各相談員や居宅介護支援専門員をはじめ、利用先の事業所への相談や報告を行い、情報を共有することで支援につなげることができました。
- ◇ 五湖の郷障がい部門全体での業務内容及び職員体制の見直しと経営改善
 - ・ 4月に定員を12名に増やし6月に満床となりました。また令和8年1月には定員を16名に変更し3月末には15名の入居となりました。
 - ・ 効率的な業務や職員体制の整備を目的に、障がいデイと調整を行いました。

<ケアホーム事業>

- ◇ 利用者が安全、安心して過ごし自立した生きがいのある生活ができる事業所づくり
 - ・ 地域連携推進会議（五湖の郷運営協議会）を開催し、ケアホームの事業説明や見学会を実施しました。
 - ・ 増床に伴い、共同生活のルールを見直し、視覚支援や個別の指導を実施しました。

- ◇ 利用実績（定員：16名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	4,314	179	197	189	191	163	158	1,077
		247	309	322	337	299	330	1,844

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	169	175	164	179	174	207	1,068	2,145
	333	313	322	299	318	368	1,953	3,797

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

- ◇ 経営状況（単位：円）

●ケアホーム

収益計 29,001,644

費用計 32,487,375

増減差額 ▲3,485,731

<障がいショート事業>

◇ 短期入所の緊急受け入れ

- ・新規利用者は5名あり全員が定期的な利用に繋がりました。また、今後の利用（緊急時を含む）や入居に向けての見学や問い合わせが増えています。

◇ 利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数【1泊を1とする】）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	267	40	38	31	33	33	28	203
		26	21	23	23	13	21	127

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	27	31	26	29	20	27	160	363
	28	34	33	29	17	17	158	285

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<移動支援事業>

◇ 柔軟なサービス提供の実施

- ・利用者ニーズ及び利用実績がないため令和7年9月30日付で廃止しました。

◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

（単位：延利用時間）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	3	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	0	0	0	0	0	0	0	0

※上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 経営状況（単位：円）

●障がいショート

収益計 2,766,240

費用計 2,613,243

増減差額 152,997

●ケアホームと障がいショートの合計

増減差額 ▲3,332,734